



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 51 号 3 月 23 日
川越中学校部活動の一生懸命な成果
(男子バレーボール部・卓球部・
吹奏楽部個人アンサンブル代表)。

「体験(自分が身をもって取り組んだこと)」から「経験(体験してきた時間の積み重ねと、自分の中で気づきや発見や感情が自分の中に入りこんでくること)」へ。そして「学び」へ。その学びを得て、自分の力に、チームの力に。その着実に継続してきた学びの力は、「粘り強くやり抜く(やり切る)力」として、しっかり発揮される。

【校長として、次のよう考えます・・・】学校だより第46号の内容から抜粋

持続力(やり抜く力)の低い子どもは、もともと生まれながらに持続力が低いとか、あきらめがちな性格を持ち合わせているとかではなく、「粘り強くやり抜いた(やり切った)経験」が少なく、積み重ねられていないだけだと思います。逆の言い方をすると、子どもたちが「粘り強くやり抜いた(やり切った)経験」を積み重ねることができたら、自分は「やればできる!」「最後まで頑張れた!」ということを感じ、経験し、「持続力(やり抜く力・やり切る力)」を獲得し、絶対に向上(成長)できる。これができるのが、今の中学生の時期だと思っています。

『粘り強く最後までやり抜く(やり切る)力』を発揮した成果。

毎日の練習を一生懸命に積み重ねてきた成果は、着実に少しずつ結果として表れてきます。

- 男子バレーボール部の東海大会での活躍
- 卓球部の2大会連続での準優勝。4月の三重県大会に北勢地区代表として出場!
- 吹奏楽部 3月25日(土)「第35回中部日本個人・重奏コンテスト本大会出場」に向けて、川越町長への表敬訪問! 激励のお言葉をいただきました!(滋賀県彦根市にて)

【男子バレーボール部の「東海ブロック中学生バレーボール新人大会」の活躍を受けて・・・】

目標としていた川越中学校男子バレーボール部として初めての東海大会へ出場。強豪チームが相手でも怯む(ひるむ)ことなく粘り強く、最後まであきらめない気持ちを持ち続けてやり切った選手たち。



3月18日(土)川越中学校男子バレーボール部は静岡県焼津市立港中学校体育館にて、川越中学校男子バレーボール部の歴史の中で初めて東海大会に出場をしました。この大会『第23回東海ブロック中学生バレーボール新人大会』といい、静岡県・愛知県・岐阜県・三重県の県大会を勝ち上がった上位4チームが各県の代表校として出場する伝統のある大会です。第1試合が川越中学校の歴史的な初戦となります。対戦相手は、岐阜県の優勝校である各務原市立中央中学校です。

立ち上がりから相手の試合ペースで進んでいきます。強烈なスパイクやサーブにリズムがつかめないままタイムアウト。伊藤先生のアドバイスとまだまだいけるという声と、大池先生の激励の声、ベンチスタートのメンバーの声に応えるように猛反撃を仕掛けます。相手の強烈なスパイクにも必ずブロックで頑張ります。ブロックのあとのフォローとレシーブを粘り強く継続しどんどん点差がなくなります。スパイクもサーブも決まり始めて相手を追い込みます。第1セット一時は3点差まで追いつける展開でしたが、自力で勝る相手に第1セットは20-25。第2セットはスタートから川越中学校の流れが続きます。相手も粘り強いバレーボールで、さすが岐阜県優勝校です。第1セットのスタート以外は、本当に接戦が続きます。リードする場面もあり、応援にも力が入ります。第2セット20-21でリードする相手を1点差まで追い込みます。あと5点でセットを奪うところまで行きましたが最後の最後で力尽きました。第2セットも20-25で最終セットカウントは『0-2』で各務原市立中央中学校の勝利です。本当に勝ちを目指した1回戦でしたが、敗退という悔しい結果。しかし、悔しさの中にも、東海大会、全国大会に出場する高いレベルの相手にも十分に戦えるというチカラとチーム力を見せてくれました。顧問の伊藤先生の言葉には、『もちろん勝つつもりでしたし、期待していましたが、ここまで生徒が戦えるチカラをつけてくれたことに正直驚いています。』と、悔しさの中にも充実感のある表情で話をしてくれました。その言葉と思いは夏の中体連大会へと向いていました。子どもたちはこの1試合の敗退を必ずこれらにつなげてくれると信じていますし、間違いなくやってくれると思います。そんなことを本当に期待させる、粘り強くチーム全員で戦った1戦でした。

《大会結果》川越中学校 0 - 2 岐阜県各務原市立中央中学校【第一セット 20-25 第二セット 20-25】

【キャプテンの2年2組 齋藤 蒼空さんの振り返りより】東海大会とうことで最初は緊張して動きが悪く、試合開始から相手の流れになってしまった。時間とともにいつもの自分たちのプレーが出るようになり、最後まで粘り強く戦うことができました。しかし相手は最後の最後にしっかりと決める力があつた。やはり課題である試合開始時のスタートからエンジンがかかるようにしていきたい。次の目標は「東海大会出場と初戦突破」です。がんばります。

【卓球部「中日盾中学団体卓球大会」「北勢地区中学生卓球大会」ともに準優勝の活躍を受けて・・・】
卓球部の 2 大会連続の団体戦準優勝！卒業した 3 年生の先輩たちから、ずっと目標としていた川越中学校卓球部団体戦としての三重県大会へ出場決定！持ち前のチームワークと一生懸命に全力で強豪チームが相手でも怯む(ひるむ)ことなく戦いました。



【3月19日（日）に開催された『令和4年度中日盾中学団体卓球大会 準優勝！』の活躍を紹介】

この大会は三河地区中学校の卓球部に所属する男子・女子卓球部の1・2年生全員が一堂に集まる団体戦です。A～Jブロックまでに各チームが3～4チームずつ割り振られ、川越中学校Aチーム、Bチームとして2チームが出場しました。Aチームは試合に出ている選手も、応援している選手も一体となりブロック1位通過で午後からの決勝トーナメントに進出しました。また、Bチームも強豪相手にも最後まであきらめずに全員が一生懸命に戦いました。しかし、各ブロックとも1位のみが決勝トーナメントに進むため、大健闘をしましたが、残念ながら午後には進めませんでした。川越中学校卓球部Aチームは午前中の10ブロックごとでの予選リーグを1位で通過し、午後からの決勝トーナメントに勝ち上がりました。決勝トーナメント1回戦は「内部中学校Aチーム」とは3-0で勝ち上がりました。準決勝は「常磐中学校Aチーム」です。今回の大会の団体戦は、ダブルス戦1組・シングルス戦3組で試合が行われます。写真のように円陣を組んでチームとしてまとまり、気合を入れているのは川越中学校だけです。このような持ち前のチームワークが一番だと思います。結果は3-1で川越中学校の勝利。決勝戦へ進出です。決勝の相手は「南中学校Aチーム」。午前中のブロック予選からすべて3-0で勝ち上がってきた強豪チーム。メンバーは最後まで集中力を保ちながらも粘り強く精一杯戦いました。どのゲームも、出場した選手はみんな頑張っていたことも聴かせてもらいました。決勝の結果は、残念ながら0-3で惜敗。しかし、三河地区での堂々の準優勝です

【3月21日（火）に開催された『北勢地区中学生卓球大会（団体戦）準優勝！』の活躍を紹介】

この大会で上位4チームが、4月16日（日）に開催される「三重県中学卓球チャンピオンシップ」に出場する権利を獲得しました。4月に開催される三重県大会の出場権4枠を目指す大変重要な大会です。3年生が夏の大会で引退してから、2年生・1年生のチームで頑張ってきた、一生懸命に取り組んできた8ヶ月間の成果としての準優勝。本当におめでとうございます！4月16日（日）の三重県大会は北勢地区の代表として、川越中学校の代表として全力で頑張ってください。チームワークの良さを強みとして・・・。

【北勢大会結果(予選リーグ戦を突破した「9チームによる決勝トーナメント戦」の結果から)】

◆決勝トーナメント(1回戦) 川越中学校 3-1 桑名市立陽和中学校 ◆(準決勝) 川越中学校 3-1 四日市市立山手中学校

◆決勝トーナメント(決勝戦) 川越中学校 0-3 四日市市立南中学校

大会結果から、優勝の「南中学校」準優勝の「川越中学校」他2チームが4月の「三重県中学生卓球大会」に出場が決定しました。

【キャプテンの2年2組 柳瀬 良平さんの振り返りより】 今回の2つの大会を振り返って、優勝した南中学校との差はまだまだある。南中学校は試合の最後まで技術も体力も全く落ちなくてすごく上手だったので、川越中も普段の練習から、悪いところを見つけて、すぐに改善できるように話し合いたい。しかし、川越中の良いところは「みんながみんなを一生懸命に応援できる、あたたかい雰囲気があるところ」です。その良さを活かして、4月の県大会団体戦は南中学校に勝って、優勝を目指したいです。

『川越中学校吹奏楽部「第35回中部日本個人・重奏コンテスト本大会」出場に向け、川越町長を表敬訪問しました！』（2年1組伊藤瑞姫さん・1年5組伊藤花梨さん。顧問の石川佳典先生が参加）



「第35回中部日本個人・重奏コンテスト三重県大会」にて「中学校個人の部」でホルン演奏として2年1組伊藤瑞姫さん、ピアノ伴奏者として1年5組の伊藤花梨さんが「金賞」を受賞しました。「三重県代表」として、今週3月25日（土）に滋賀県彦根市で開催される『中部日本個人・重奏コンテスト本大会』へ出場します。大会出場に向けて、伊藤瑞姫さん、伊藤花梨さん、顧問の石川佳典先生が川越町長への表敬訪問を昨日3月22日（水）に行かせていただきました。城田町長より、大会に向けての激励のお言葉をいただきました。また、生徒2名のリクエストにも答えていただき、いろんなポーズで記念

写真を撮っていただきました。城田町長様、大変お忙しい中、本当にありがとうございました。

大会当日の演奏曲は「ホルン協奏曲第3番第3楽章」です。本大会は三重県・愛知県・岐阜県・静岡県・長野県・石川県・富山県・福井県・滋賀県の8県からそれぞれの県代表が集まる大きな大会です。三重県代表として、川越中学校代表として、いつも通りの心に響く、すてきな演奏を、すてきなメロディーを会場いっぱいに響かせてください。大会様子はHPでお伝えします